

mini

DISCLOSURE

2013.3
Vol. 35

2012.4.1 » 2013.3.31

ミニディスクロージャー誌

第90期 営業のご報告

長期ビジョン

中期経営計画

「MVP」「MVP 1/3」

(ワンサード)

トピックス

県内 40 市に支店網を確立！

吉川支店オープン！

さいたま市 氷川参道



武蔵野銀行

長期ビジョン「MVP」・中期経営計画「MVP」

長期ビジョン「MVP (Musashino Value-making Plan)」

埼玉に新たな価値を創造する『地域No.1銀行』 ～Value-making Bank～

埼玉に新たな価値を生み出すことにより、埼玉の発展を主導し、
お客さまの期待に応えることで自らも成長する

存在意義 ▶ 「地域金融の担い手」としての役割のみならず、地域に新しい取組みを生み出すための主導的役割も担うことで、埼玉の成長に貢献し、その未来を支えていく

基本方針 2つのドメイン(事業領域)で地域 No.1 の領域を築き、埼玉の成長を導く

成長
ドメイン

地域金融機関として、金融仲介機能を
向上させ、地域の成長を支える

創造
ドメイン

地域の新たな産業やビジネスモデルを
自ら創り出し、地域の成長を促す

新中期経営計画「MVP 1/3 (ワンサード)」

計画期間：平成25年4月～平成28年3月

3年後に
実現する姿

埼玉県の成長に貢献する「地域 No.1 銀行」に向けた第1フェーズ(態勢強化期間)

成長
ドメイン

チャネルと人材の強化ならびに経営資源の
傾斜配分により、地域金融機関として将来
に亘り成長戦略を継続しうる土台をつくる

創造
ドメイン

地域の新たな産業やビジネスモデル
などの事業化構想を自ら企画、実現
しうる態勢を整備する

計画の全体像

意識、行動、経営資源の「シフト」

成長戦略の実現のための3本の柱

営業戦略

- 店舗を軸とした営業密度とエリアの拡大
- 人を軸としたお客さま接点の拡大と課題解決能力の強化
- 非対面チャネルを軸とした各種施策の展開

人材戦略

- 人材ポートフォリオ計画の構築・運用
- 人材育成の再構築

インフラ構築

- 業務プロセスの見直し
- 収益を生み出すシステムへの重点投資

創造戦略の始動

地域の産業やビジネスモデルなどの
事業化を構想・推進

経営管理態勢の強化

コンプライアンスおよび顧客保護等
管理態勢の強化等

グループ戦略の強化

グループ総合力を生かした各種
ソリューション・サービスの提供

むさしの
ブランドの
深化

1/3 (ワンサード)』

埼玉に新たな価値を創造する『地域No.1銀行』を目指して 皆さまとともに歩んでまいります。

平素より武蔵野銀行をご利用、お引き立ていただき誠にありがとうございます。株主さまをはじめお取引先の皆さまに、当行に
対するご理解を一層深めていただければと、平成25年3月期の営業の概況等をわかりやすくお知らせする本冊子を作成いたしました。
ご高覧いただければ幸いに存じます。

国内経済は、新政権発足以降、円高の是正や株価上昇等による資産効果や消費税増税を控えた駆け込み需要の高まり等から
消費マインドが改善し、持ち直しの動きが見られております。県内経済におきましても、新政権が掲げている政策のメリットを大きく
享受できるポテンシャルを有していることから、個人消費の回復とともに自動車関連を中心とした輸出産業が県内経済を牽引し、
本来の力強さを取り戻し、回復していくものと思われます。

このようななか、平成25年3月期は、前中期経営計画「NEW PROJECT 60」の最終年度にあたり全役職員一丸となって
取組みました結果、貸出金は前年比953億円増加し2兆9,626億円、預金等は前年比1,108億円増加し3兆6,603億円と貸出
金・預金等ともに順調に推移しております。

収益面は、お客さまとの更なる接点強化を図り、リレーション向上と商品力の強化に努めました結果、経常利益は171億円、
当期純利益は4期連続の増益となる105億円となりました。

さて、当行では10年後の目指すべき姿として「埼玉に新たな価値を創造する『地域No.1
銀行』」を掲げた長期ビジョンを策定しました。また、このビジョンを達成するため、今後10年
間を3つのフェーズに分け、はじめの3年間を態勢強化期間として位置づけた中期経営
計画「MVP 1/3(ワンサード)」を平成25年4月よりスタートさせました。これにより、
地域No.1の領域を築くため、「成長戦略」や「創造戦略」を中心とした諸施策に
取組み、新たな成長エンジンを確立してまいります。

当行を取り巻く環境は大きく変化し、競合他行の攻勢もますます
厳しくなっておりますが、全役職員でこの長期ビジョン・中期経営計画
を共有し、ぶぎんグループ一丸となってお客さまへの責務を果たし
てまいります。

今後とも皆さま方からの変わらぬご支援、ご愛顧を賜ります
よう心よりお願い申し上げます。

平成25年6月

頭取 **加藤喜久雄**



業績ハイライト

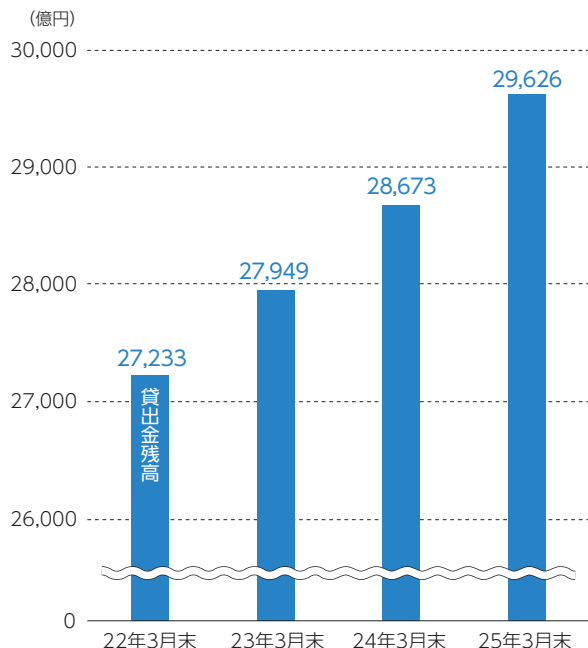
- 貸出金・預金等及び預り資産の状況
- 損益の状況

業績のポイント

- 貸出金残高は2兆9,626億円となり、前年比年率3.3%、953億円増加しました。
- 預金等残高は3兆6,603億円となり、前年比年率3.1%、1,108億円増加しました。
- 預り資産残高は6,037億円となり、前年比年率6.7%、382億円増加しました。

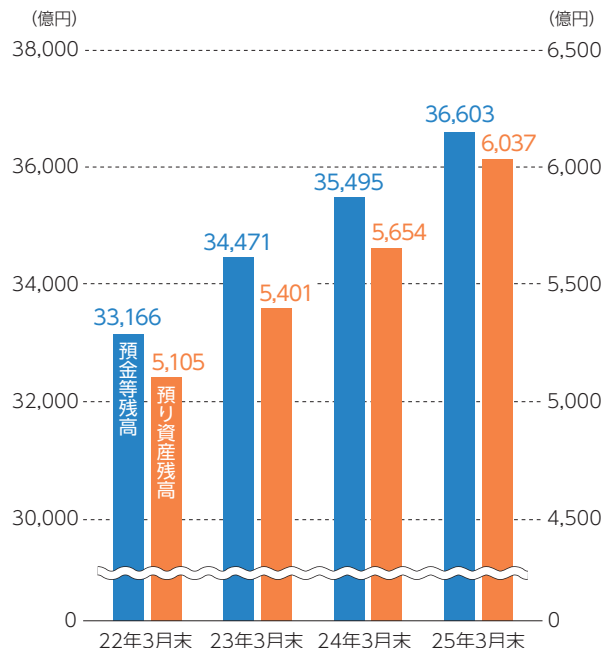
預金・貸出金
ともに
増勢を維持！

貸出金の状況



県内地元企業及び個人のお客さまのニーズにお応えすべく積極的に取組み、貸出金の増強に努めました結果、前年比953億円(年率3.3%)増加し、2兆9,626億円となりました。

預金等及び預り資産の状況



預金等残高は、地域に密着した営業基盤の拡充や総合取引の推進等に努めました結果、前年比1,108億円(年率3.1%)増加し、3兆6,603億円となりました。

預り資産残高は、一時払終身保険商品、投資信託の販売が増加し、前年比382億円(年率6.7%)増加し、6,037億円となりました。

※預金等とは、預金に譲渡性預金を加えたものです。

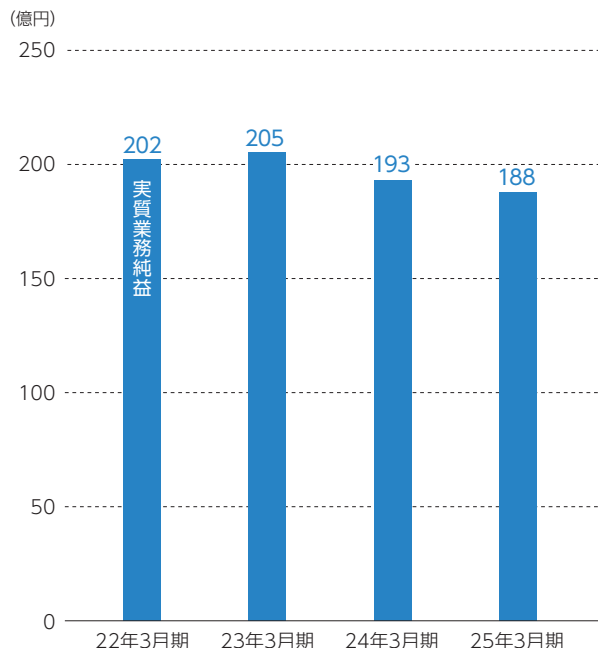
※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しています。

業績のポイント

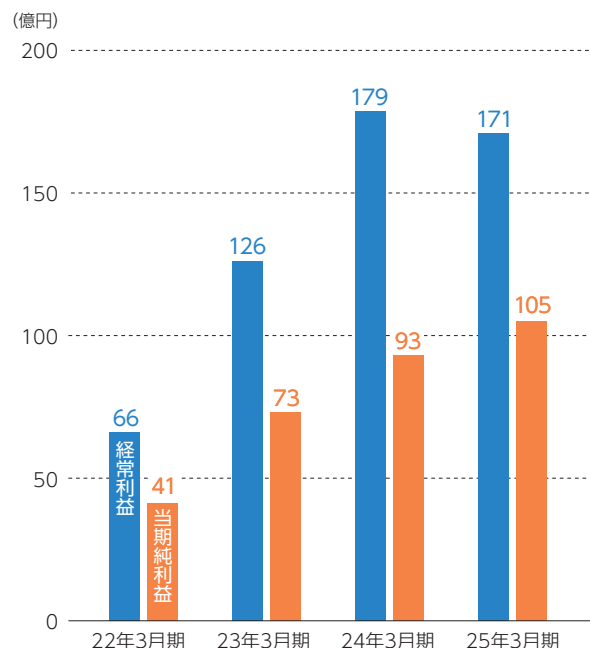
- 実質業務純益は、188億円となりました。
- 経常利益は171億円、当期純利益は105億円となりました。

当期純利益
4期連続
増益！

損益の状況



実質業務純益は、預り資産関係手数料の増加を主因に役務取引等利益が増加、また、国債等債券売却益の増加によりその他業務利益が増加した一方で、資金利益が市場金利の低下を背景とした運用利回りの低下を主因に減少したことなどから、前年比4億円減少し、188億円となりました。



経常利益は、前年に大幅な貸倒引当金戻入益を計上した反動から、前年比8億円減少し171億円となりました。
当期純利益は、前年比11億円増加し105億円となり、4期連続の増益となりました。

業績ハイライト

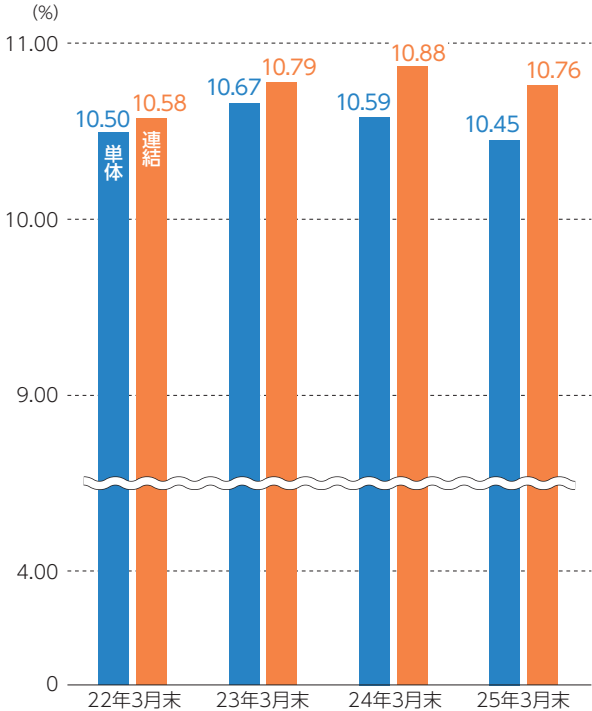
■自己資本比率 ■格付
■不良債権の状況 ■不良債権への備え

業績のポイント

- 単体自己資本比率は10.45%で、財務内容は引き続き高い健全性を堅持しております。
- 格付は「A+」、債務履行の確実性が高い「投資適格」の評価を受けています。

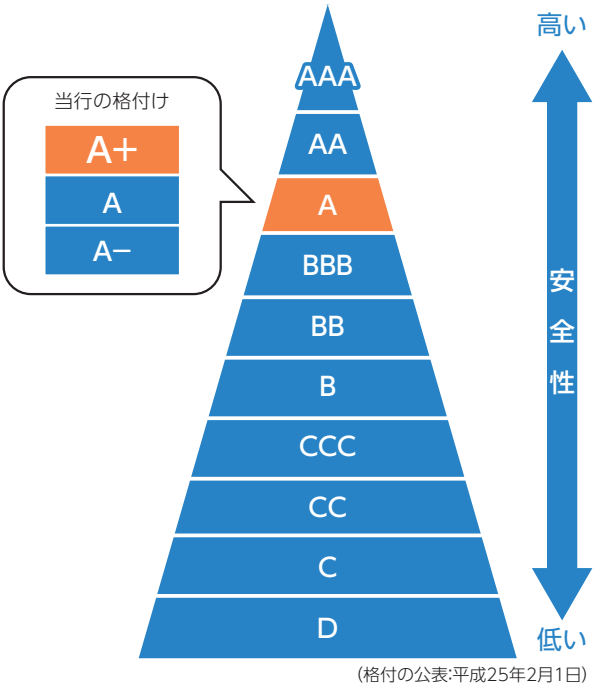
高い
健全性
を堅持

自己資本比率



25年3月末の単体自己資本比率は、前年比0.14%低下し、10.45%となりました。
単体・連結ともに財務内容は引き続き高い健全性を堅持しております。

格付



当行は、株式会社日本格付研究所から銀行の総合的な債務履行能力を評価する「長期優先債務格付」について「A+」を取得しております。
「A+」は、「債務履行の確実性が高い」という投資適格の評価です。

※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しています。

業績のポイント

- 不良債権残高は747億円となり、前年比25億円増加しました。
- 不良債権比率は2.50%となりました。

不良債権
比率は
横ばい

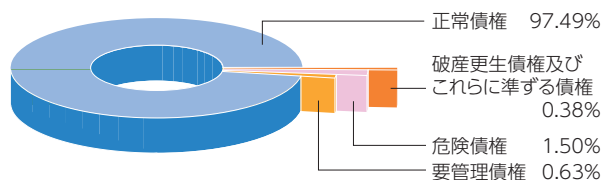
不良債権の状況

金融再生法に基づく開示債権

平成25年3月末実績は、破産更生債権及びこれらに準ずる債権が113億円、危険債権が447億円、要管理債権が187億円となり、いわゆる不良債権残高は、前年比25億円増加し、747億円となりました。

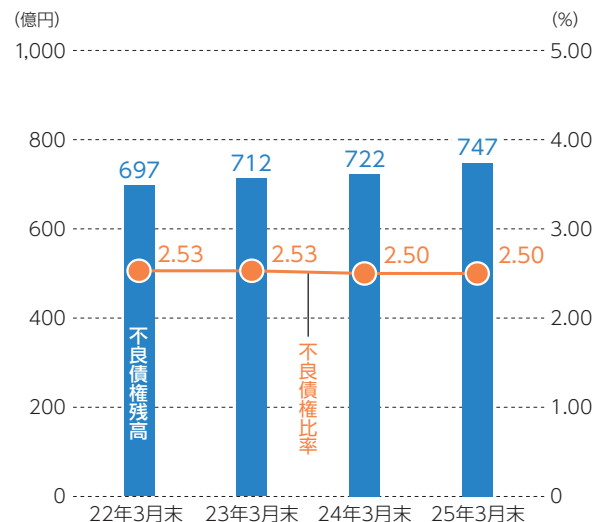
	24年3月末	25年3月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	130	113	△17
危険債権	427	447	20
要管理債権	164	187	23
小計(不良債権)	722	747	25
正常債権	28,129	29,050	921
合 計	28,851	29,797	946

(※上記の計数は億円未満を四捨五入しています。)



(※上記の計数は小数点第2位未満を四捨五入しています。)

平成25年3月末の不良債権比率は、2.50%となりました。



不良債権への備え

平成25年3月末の不良債権747億円に対する備えでは、担保・保証537億円、貸倒引当金101億円の639億円が確保され、保全率は85.58%です。

残りの107億円は直ちに保全が必要な債権ではなく、仮に全額追加負担となっても、自己資本で処理できるだけの十分な経営体力を有しています。

貸借対照表

	(単位:百万円)	
	平成 24 年 3 月末	平成 25 年 3 月末
(資産の部)		
現金預け金	105,094	178,696
コールローン	30,000	—
買入金銭債権	2,327	1,545
商品有価証券	203	282
金銭の信託	1,500	1,495
有価証券	731,738	719,012
貸出金	2,867,330	2,962,654
外国為替	2,292	2,545
その他資産	12,927	12,747
有形固定資産	34,401	35,364
無形固定資産	2,820	3,169
繰延税金資産	6,520	1,561
支払承諾見返	9,674	9,294
貸倒引当金	△ 14,488	△ 13,599
資産の部合計	3,792,343	3,914,771

	(単位:百万円)	
	平成 24 年 3 月末	平成 25 年 3 月末
(負債の部)		
預金	3,516,200	3,634,854
譲渡性預金	33,358	25,510
コールマネー	2,652	940
借入金	21,758	19,226
外国為替	134	114
社債	10,000	10,000
その他負債	13,242	13,821
賞与引当金	1,168	1,177
退職給付引当金	5,503	5,503
睡眠預金払戻損失引当金	236	278
偶発損失引当金	791	709
再評価に係る繰延税金負債	4,937	4,937
支払承諾	9,674	9,294
負債の部合計	3,619,658	3,726,368
(純資産の部)		
資本金	45,743	45,743
資本剰余金	38,351	38,351
資本準備金	38,351	38,351
利益剰余金	73,553	80,668
利益準備金	10,087	10,087
その他利益剰余金	63,465	70,581
自己株式	△ 905	△ 816
株主資本合計	156,743	163,946
その他有価証券評価差額金	9,677	18,188
繰延ヘッジ損益	△ 1,408	△ 1,423
土地再評価差額金	7,653	7,653
評価・換算差額等合計	15,921	24,418
新株予約権	19	37
純資産の部合計	172,684	188,402
負債及び純資産の部合計	3,792,343	3,914,771

※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しています。

損益計算書

(単位:百万円)

	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期
経常収益	69,977	67,378
資金運用収益	56,256	52,766
(うち貸出金利息)	(48,328)	(45,270)
(うち有価証券利息配当金)	(7,680)	(7,139)
役務取引等収益	8,697	8,970
その他業務収益	1,123	3,431
その他経常収益	3,900	2,210
経常費用	51,993	50,200
資金調達費用	4,650	3,771
(うち預金利息)	(2,669)	(2,282)
役務取引等費用	4,979	5,161
その他業務費用	1,412	1,253
営業経費	36,494	37,062
その他経常費用	4,456	2,951
経常利益	17,983	17,178
特別利益	0	1
特別損失	138	86
税引前当期純利益	17,845	17,093
法人税、住民税及び事業税	4,244	6,095
法人税等調整額	4,218	479
法人税等合計	8,463	6,574
当期純利益	9,382	10,519

株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期
株主資本合計		
当期首残高	149,398	156,743
当期変動額		
剰余金の配当	△ 2,032	△ 2,371
当期純利益	9,382	10,519
自己株式の取得	△ 4	△ 950
自己株式の処分	—	7
自己株式の消却	—	—
利益剰余金から資本剰余金 への振替	—	—
当期変動額合計	7,344	7,203
当期末残高	156,743	163,946
評価・換算差額等合計		
当期首残高	6,853	15,921
当期変動額		
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	9,067	8,496
当期変動額合計	9,067	8,496
当期末残高	15,921	24,418
新株予約権		
当期首残高	—	19
当期変動額		
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	19	17
当期変動額合計	19	17
当期末残高	19	37
純資産合計		
当期首残高	156,252	172,684
当期変動額		
剰余金の配当	△ 2,032	△ 2,371
当期純利益	9,382	10,519
自己株式の取得	△ 4	△ 950
自己株式の処分	—	7
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	9,087	8,514
当期変動額合計	16,432	15,718
当期末残高	172,684	188,402

連結貸借対照表

	(単位:百万円)	
	平成 24 年 3 月末	平成 25 年 3 月末
(資産の部)		
現金預け金	105,269	178,775
コールローン及び買入手形	30,000	—
買入金銭債権	2,327	1,545
商品有価証券	203	282
金銭の信託	1,500	1,495
有価証券	734,854	722,195
貸出金	2,856,298	2,950,897
外国為替	2,292	2,545
リース債権及びリース投資資産	14,940	15,231
その他資産	22,126	23,442
有形固定資産	35,680	36,329
無形固定資産	2,967	3,300
繰延税金資産	8,812	3,588
支払承諾見返	9,674	9,294
貸倒引当金	△ 20,592	△ 19,582
資産の部合計	3,806,355	3,929,343

	(単位:百万円)	
	平成 24 年 3 月末	平成 25 年 3 月末
(負債の部)		
預金	3,509,176	3,624,000
譲渡性預金	30,358	25,510
コールマネー及び売渡手形	2,652	940
借入金	28,919	25,796
外国為替	134	114
社債	10,000	10,000
その他負債	24,545	26,148
賞与引当金	1,226	1,228
役員賞与引当金	15	13
退職給付引当金	5,549	5,545
利息返還損失引当金	81	108
睡眠預金払戻損失引当金	236	278
ポイント引当金	70	60
偶発損失引当金	791	709
再評価に係る繰延税金負債	4,937	4,937
支払承諾	9,674	9,294
負債の部合計	3,628,370	3,734,688
(純資産の部)		
資本金	45,743	45,743
資本剰余金	38,351	38,351
利益剰余金	73,996	81,735
自己株式	△ 905	△ 816
株主資本合計	157,186	165,013
その他有価証券評価差額金	9,683	18,202
繰延ヘッジ損益	△ 1,408	△ 1,423
土地再評価差額金	7,653	7,653
その他の包括利益累計額合計	15,927	24,431
新株予約権	19	37
少数株主持分	4,850	5,172
純資産の部合計	177,984	194,654
負債及び純資産の部合計	3,806,355	3,929,343

※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しています。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期
経常収益	78,968	77,678
資金運用収益	56,394	52,858
(うち貸出金利息)	(48,417)	(45,321)
(うち有価証券利息配当金)	(7,724)	(7,175)
役務取引等収益	9,676	9,940
その他業務収益	1,780	4,159
その他経常収益	11,117	10,720
経常費用	59,424	58,709
資金調達費用	4,725	3,826
(うち預金利息)	(2,668)	(2,281)
役務取引等費用	4,276	4,411
その他業務費用	1,412	1,253
営業経費	37,392	38,065
その他経常費用	11,616	11,151
経常利益	19,544	18,969
特別利益	0	1
特別損失	138	358
税金等調整前当期純利益	19,406	18,612
法人税、住民税及び事業税	4,510	6,463
法人税等調整額	4,701	719
法人税等合計	9,212	7,182
少数株主損益調整前当期純利益	10,193	11,430
少数株主利益	571	287
当期純利益	9,621	11,142

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期
少数株主損益調整前当期純利益	10,193	11,430
その他の包括利益	9,094	8,541
その他有価証券評価差額金	8,323	8,556
繰延ヘッジ損益	69	△ 14
土地再評価差額金	701	—
包括利益	19,287	19,971
親会社株主に係る包括利益	18,693	19,646
少数株主に係る包括利益	594	325

連結株主資本等変動計算書

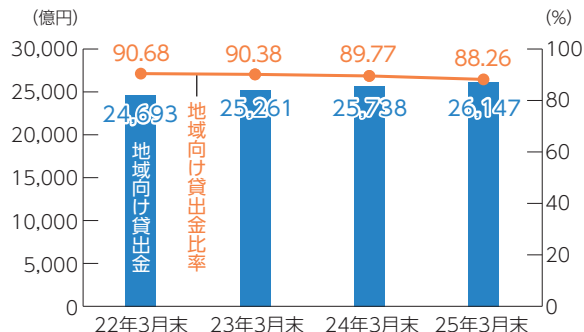
(単位:百万円)

	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期
株主資本合計		
当期首残高	149,602	157,186
当期変動額		
剰余金の配当	△ 2,032	△ 2,371
当期純利益	9,621	11,142
自己株式の取得	△ 4	△ 950
自己株式の処分	—	7
自己株式の消却	—	—
利益剰余金から資本剰余金 への振替	—	—
当期変動額合計	7,584	7,827
当期末残高	157,186	165,013
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	6,855	15,927
当期変動額		
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	9,071	8,503
当期変動額合計	9,071	8,503
当期末残高	15,927	24,431
新株予約権		
当期首残高	—	19
当期変動額		
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	19	17
当期変動額合計	19	17
当期末残高	19	37
少数株主持分		
当期首残高	4,260	4,850
当期変動額		
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	590	322
当期変動額合計	590	322
当期末残高	4,850	5,172
純資産合計		
当期首残高	160,718	177,984
当期変動額		
剰余金の配当	△ 2,032	△ 2,371
当期純利益	9,621	11,142
自己株式の取得	△ 4	△ 950
自己株式の処分	—	7
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	9,682	8,843
当期変動額合計	17,266	16,670
当期末残高	177,984	194,654

県民の皆さまとともに

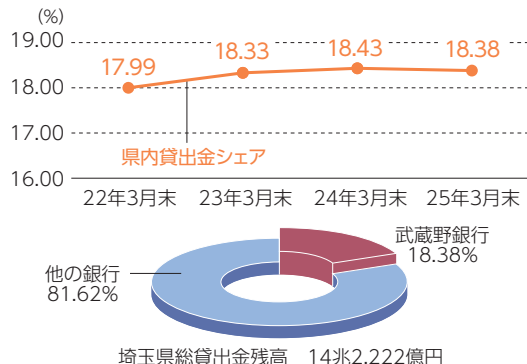
- 県民の皆さまへの貸出金
- 県民の皆さまからの預金・預り資産等

地域向け貸出金



25年3月末の地域向け貸出金は、前年比409億円増加し、2兆6,147億円となりました。地域向け貸出金比率は88.26%となりました。

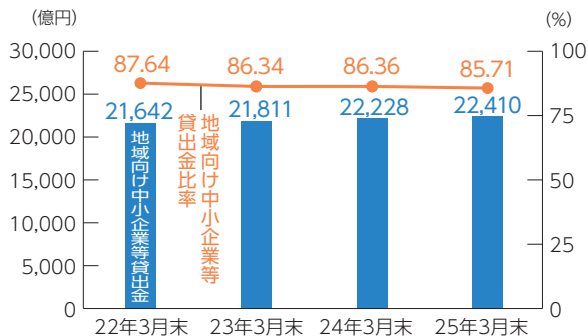
県内貸出金シェア



25年3月末の埼玉県内の貸出金シェアは、前年比0.05ポイント低下し、18.38%となりました。

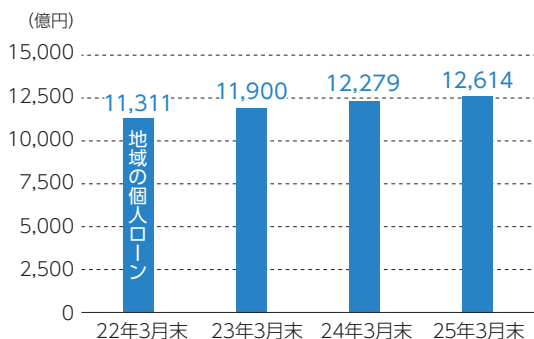
出所:日本銀行調査統計局資料(国内銀行 銀行勘定ベース)

地域向け中小企業等貸出金



25年3月末の地域向け中小企業等に対する貸出金残高は、前年比182億円増加し、2兆2,410億円となりました。また、地域向け中小企業等貸出金比率は85.71%と、引き続き高い割合を維持しております。

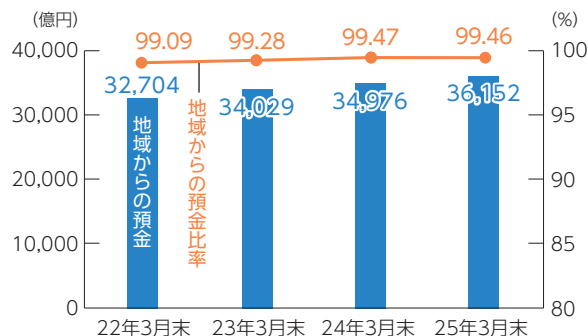
地域の個人ローン



25年3月末の地域の個人ローン残高は、前年比335億円増加し、1兆2,614億円となりました。

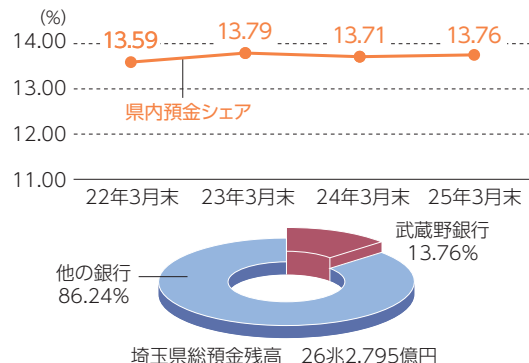
※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しています。
 ※当行では「地域」について、埼玉県及び経済圏・生活圏等が重なる茨城県五霞町と位置づけています。

地域からの預金



25年3月末の地域からの預金残高は、前年比1,176億円増加し、3兆6,152億円となりました。地域からの預金比率は、99.46%となりました。

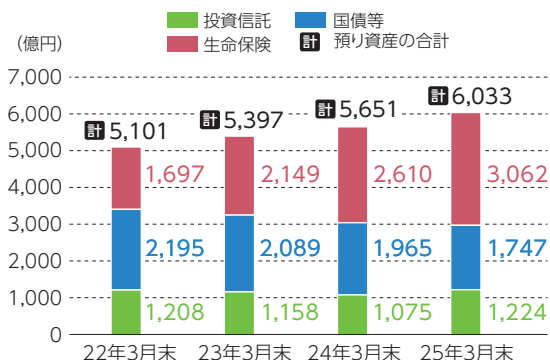
県内預金シェア



25年3月末の埼玉県内の預金シェアは前年比0.05ポイント上昇し、13.76%となりました。

出所:日本銀行調査統計局資料(国内銀行 銀行勘定ベース)

地域からの預り資産

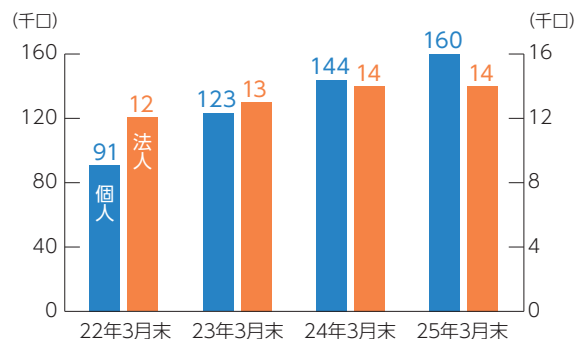


25年3月末の地域からの預り資産残高は、前年比382億円増加し、6,033億円となりました。

※投資信託は時価で表示してあります。

※生命保険については、販売累計額を表示してあります。

インターネットバンキング口座契約数



メイン化活動の推進により、インターネットバンキングの口座契約数は、着実に増加しています。

株式情報

株式のご案内

1 事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
2 定時株主総会	毎年6月に開催
3 剰余金の配当	株主総会の決議により、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主若しくは信託受託者、登録株式質権者にお支払いします。
4 中間配当	中間配当を行う場合は、取締役会の決議により、9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主若しくは信託受託者、登録株式質権者にお支払いします。
5 基準日	定時株主総会の議決権の基準日は毎年3月31日
6 公告の方法	電子公告といたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
7 株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 [連絡先] 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料) [ご注意] 株主さまの住所変更や買取請求等のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっておりますので、ご注意ください。

特別口座に記録された株主さまへ

- 1.特別口座のままでは売買を行うことはできません。証券会社等に株主さまご本人の口座を開設し、特別口座から証券会社等の口座に振替請求を行ってください。
- 2.特別口座に記録された単元未満株式の買取請求、買増請求、住所変更等のお手続きは、上記の特別口座管理機関にお申し出ください。

株式の状況等 (平成25年3月末現在)

発行可能株式総数	80,000千株
発行済株式の総数	33,805千株
株主数	13,382名

※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しています。

大株主の状況 (平成25年3月末現在)

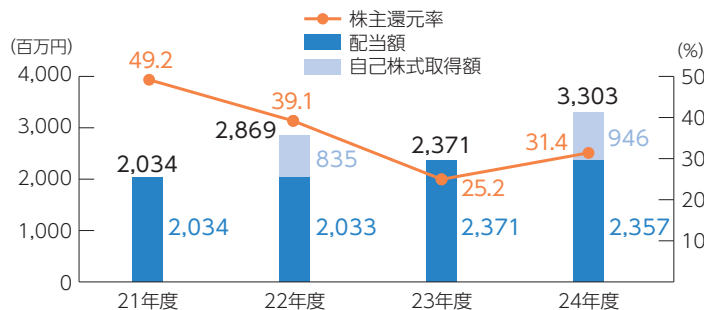
(千株・%)

株主名	当行への出資状況	
	持株数等	持株比率
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	2,743	8.18
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,218	3.63
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口4)	1,204	3.59
武蔵野銀行従業員持株会	849	2.53
明治田舎生命保険相互会社	735	2.19
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	719	2.14
住友生命保険相互会社	702	2.09
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	585	1.74
日本生命保険相互会社	540	1.61
前田硝子株式会社	509	1.51

※持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。

※持株比率は自己株式(277千株)を控除して算出し、少数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

株主還元額・還元率



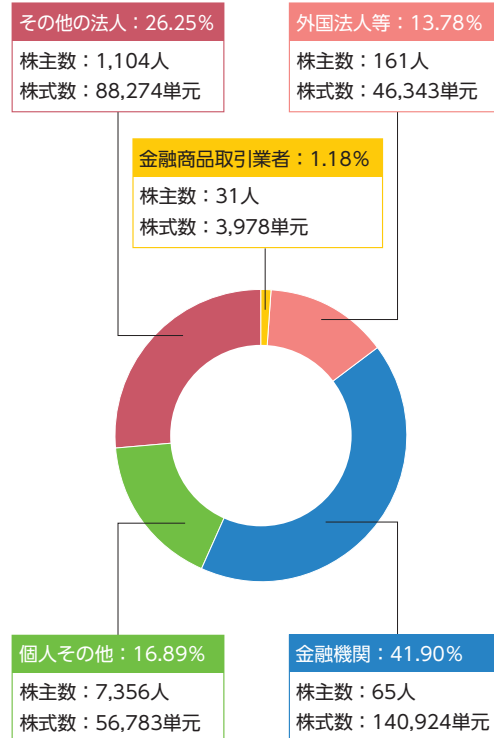
期末配当金

24年3月期の「創業60周年記念配当」(10円)に引き続き、25年3月期の期末配当金につきましても、1株あたり10円増額の40円(年間70円)を予定しております。

※25年6月開催の定時株主総会承認後の取扱いとなります。

株式の所有者別構成

(平成25年3月末現在)



注1. 単元未満株式は、175,256株です。

2. 自己株式277,504株は「個人その他」に2,775単元、単元未満株式に4株含まれております。

3. 「その他の法人」には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が14単元含まれております。

お客さまの多様なニーズに

武蔵野銀行では、コンサルティング機能を発揮し、お取引先

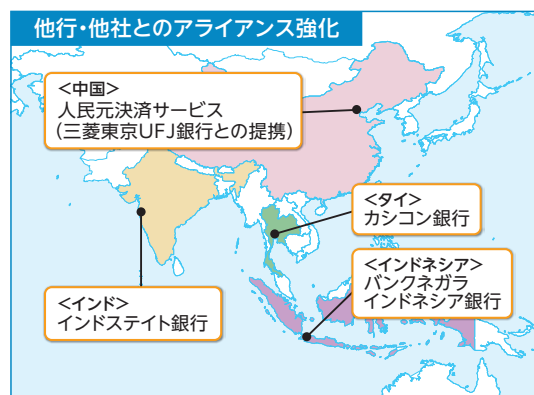
海外進出支援

中国や東南アジア諸国に拠点を有する他行・他社とのアライアンス強化を図り、海外に進出されたお取引先企業の皆さまに、現地の情報や各種金融サービスをご提供しています。

また、今後海外進出をご検討されている皆さまを対象に、セミナーや勉強会等も開催しています。

●海外支援に関する主な業務提携

提携先	提携内容
三菱UFJ信託銀行	当行お取引先に対する同行海外拠点での業務協力等
三菱UFJリサーチ&コンサルティング	海外進出支援業務における各種アドバイザー・サービス等
三菱東京UFJ銀行	中国人民元決済サービス
カシコン銀行	タイでの金融・情報提供サービス等
バンクネガラ インドネシア銀行	インドネシアでの金融・情報提供サービス等
インドステイト銀行	インドでの金融・情報提供サービス等



事業再生・経営改善支援

本部・営業店が一体となって、さらには埼玉県中小企業支援協議会や外部コンサルタントと連携し、事業再生を目指すお取引先企業への経営分析や経営改善策のアドバイス、当行独自のシステムを活用した経営改善計画の策定支援等を行っています。

なお、「中小企業等金融円滑化臨時措置法」期限終了後につきましても、引続き迅速かつ真摯な事業再生・経営改善支援に取り組んでまいります。

お取引先の実態に応じた、迅速かつ真摯な取組みの実施



きめ細かなモニタリングとメリハリある支援

- ・1社ごとのモニタリングを強化
- ・実態に応じた取組み方針を明確にした支援の実施

積極的に応えています

の皆さまのさまざまなニーズに積極的に応えています。

相続・事業承継支援

埼玉県におきましても、今後、高齢化の急速な進展が予想されることから、信託銀行等と提携し、遺言信託をはじめとした相続・事業承継業務の強化を図っています。

三菱UFJ信託銀行、朝日信託と業務提携

- ・遺言信託業務
- ・遺産整理業務
- ・財産承継プランニング業務 等

産学連携を通じた支援

産学連携への取組みとして県内の7つの大学と提携し、研究開発や経営課題解決といったお取引先企業の皆さまのニーズにお応えしています。

なお、当行では、立教大学との連携にみられるように、個別のお客様のニーズに止まらず、地域振興活動として埼玉県内の産業活性化にも取り組んでいます。

産学連携協定を締結している大学(50音順)

- | | |
|---------|---------|
| ・埼玉大学 | ・東洋大学 |
| ・埼玉県立大学 | ・日本工業大学 |
| ・埼玉工業大学 | ・立教大学 |
| ・西武文理大学 | |

産学連携を通じ地域の観光活性化に貢献

まち歩きマップ第5弾

「ぶらって大宮 氷川参道」完成!



(※在庫終了次第、配布を終了させていただきますが、何卒ご了承ください。)

25年3月、立教大学との産学連携協定に基づく取組みである「まち歩きマップ」第5弾『ぶらって大宮 氷川参道』が完成しました。当行本支店のほか、埼玉県庁・大宮区役所、東武鉄道の各駅(県内)等にてお配りしています。



▲完成披露・贈呈式を開催



▲実際にマップを見ながらのまち歩きイベントも開催



支店概要

所在地 〒342-0056
吉川市平沼一丁目14番12
TEL 048-983-5711



※JR吉川駅から徒歩12分

ますます広がる店

県内40市に支店網を確立!

吉川支店オー

平成25年1月23日(水)、吉川支店を開設しました。

吉川市は県南東部に位置する発展が顕著な地域であり、この将来性のある市場に、地域に密着した金融サービスをご提供いたします。

なお、吉川支店の開設により当行の店舗数は94か店(県内92か店うち出張所1、県外2か店)となり、県内40市全市に支店網を確立しました。



プン!

吉川ってどんな街?

川魚料理の伝統が根付くまち「なまずの里吉川」

吉川市は、中川、江戸川という2つの川に挟まれ、その地形から川魚料理という食文化が根付きました。

江戸時代初期には、河岸付近に川魚料理を売り物にした料亭が軒を連ね、「吉川に来て、なまず、うなぎ食わずなかれ」と言われるほどであったと言われています。

▶吉川市のイメージキャラクター「なまりん」



吉川市データ (平成25年4月1日現在)

■総人口	68,174人
■世帯数	26,296世帯
■面積	31.62km ²



既存店舗の リニューアルも 進めています!

新店舗開設のほか、既存店舗の移設やバリアフリー化等のリニューアルも進めており、平成24年12月19日(水)には鴻巣支店、平成25年3月18日(月)には下山口支店をそれぞれオープンいたしました。



鴻巣支店



下山口支店

支店概要 所在地 〒365-0038 鴻巣市本町7-2-33
TEL 048-541-1621



※鴻巣駅東口から徒歩15分

支店概要 所在地 〒359-1145 所沢市大字山口1419番地
TEL 04-2925-3111



※下山口駅から徒歩5分

すべてのお客さまに安心・快

武蔵野銀行では、すべてのお客さまに安心して快

店舗設備をバリアフリーに

ご高齢の方やハンディキャップをお持ちのお客さまに安心してご利用いただけるよう、店舗設備のバリアフリー化を進めています。また、円滑なコミュニケーションを実現するため、コミュニケーションボードなどのツールも配備しています。



スロープ



点字ブロック



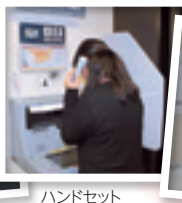
助聴器・筆談器・耳マーク



▲コミュニケーションボード



つえホルダー



ハンドセット
機能付ATM



多機能トイレ



▲コミュニケーションボード(中国語)
※英語、ハングル語もございます。



お客さま満足度の向上に向けて

お客さまにより一層ご満足いただける銀行を目指し、25年4月より、「Step Up まごころ向上運動」を開始し、CS意識の徹底やマナーの向上、事務の堅確化、スピードアップに全行挙げて取り組んでおります。



ロビー案内係の配置

お客さまにさまざまなおもてなしを行う「ロビー案内係」を配置しております。各種手続きについてご案内させていただくほか、ATM操作のお手伝いなども行っています。



適にご利用いただくために

適にご利用いただける店舗づくりを進めています。



AEDを全店に設置

お客さまに万が一の事態(心室細動)が発生した際に迅速な救命活動を行えるよう、全店にAED(自動体外式除細動器)を設置しています。



全店のロビーにAEDを設置▲

AED(自動体外式除細動器)

心臓が痙攣し血液を送り出すポンプ機能を失った状態(心室細動)の時に電気ショック(電氣的除細動)を与え、心臓の動きの正常化を図る医療機器。



認知症サポーターの養成

埼玉県の「認知症サポート企業」として、各店で「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症サポーターの養成に取り組んでいます。

認知症サポーター

認知症を正しく理解し、認知症の方やそのご家族を温かく見守る応援者。適切な支援を行うことで、誰もが安心して暮らせる地域づくりに貢献する。



手話講座の開催

耳のご不自由なお客さまとのコミュニケーション向上を図るため、「手話講座」の開催等も随時行っています。



地域との絆を大切に

武蔵野銀行では、平成24年5月に「武蔵野ボランティアクラブ」を設立し、「環境保全」や「社会福祉」をはじめ、幅広い分野のボランティア活動を実施しています。

環境保全ボランティア

24年11月に、芝川第一調節池で外来植物の除去活動等を行ったほか、
25年3月には見沼たんぼにてウォーキングを楽しみながら
ゴミ拾いを行う「見沼たんぼクリーンウォーク」に参加しました。

短時間でたくさんの
外来植物を除去しました!



芝川第一調節池での外来植物除去活動

横一列に並んで黙々と...



たくさん
拾ったね!



見沼たんぼクリーンウォーク



道路脇のゴミを
拾いながらウォーキング。

金融教育ボランティア



25年3月に、埼玉県県民活動総合センター（伊奈町）で行われた「こども☆夢☆未来フェスティバル2013」へ参加し、「お金・銀行について物知りになる体験」と題し、お子さま向けの金融教育イベントを開催しました。

おれをカッコよく
数えられるかなあ〜



お金や銀行に関する
クイズを出題。

参加してくれたお子さんと保護者の方には
記念品をプレゼント!



こども☆夢☆未来 フェスティバル

NPO法人彩の子ネットワーク主催。子育て中の母親に対する支援を軸に、さまざまな分野の団体・企業等が集まり、参加・交流していくなかで「地域全体で子育てを支える社会」の形成に向けた機運の醸成を目指す。平成12年から開催され、今年で13回目。

社会福祉ボランティア

24年10月に、県内の特別養護老人ホーム（2か所）を訪問し、居室等の清掃や配膳のボランティアを実施しました。

利用者の方から声を掛けて
いただくこともありました。



居室内の洗面台を
キレイに清掃。



昼食後の食器等
片付けをお手伝い。

【武蔵野銀行について】



■経営理念

「地域共存」… 豊かな地域社会の実現に寄与し、地域とともに発展します。

「顧客尊重」… 変化を先取りした果敢な経営を展開し、組織を挙げて最良のサービスを提供します。

▶プロフィール (平成25年3月末現在)

本店所在地 さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8

ホームページ <http://www.musashinobank.co.jp>

設立 昭和27年3月6日

ネットワーク

営業店舗数	94か店 (県内92〔うち出張所1〕、県外2)
住宅ローンセンター数	9か所
店舗外ATM数 (拠点数)	117か所
法人オフィス数	1か所
ATM・CD設置台数	479台

従業員数 2,192名

総資産 39,147億円

預金等残高 36,603億円

貸出金残高 29,626億円

資本金 457億円

自己資本比率 10.45%

連結子会社

- ぶざん総合リース株式会社 (総合リース、営業資金の貸付業務)
- ぶざん保証株式会社 (個人向け融資に係る信用保証業務)
- むさしのカード株式会社 (クレジットカード (JCB、VISA)、信用保証業務)
- ぶざんビジネスサービス株式会社 (銀行事務代行業務)
- ぶざんシステムサービス株式会社 (コンピュータシステムの開発・販売・保守管理業務)
- 株式会社ぶざん地域経済研究所 (県内経済・産業の調査研究、経営・税務等の相談、各種セミナーの開催)
- 株式会社ぶざんキャピタル (ベンチャー企業等への投資、経営相談)

【店舗ネットワーク】

武蔵野銀行 店舗

検索

■中央地域

- ・本店営業部
- ・浦和支店
- ・蕨支店
- ・川口支店
- ・鴻巣支店
- ・北浦和支店
- ・上尾支店
- ・宮原支店
- ・戸田支店
- ・岩槻支店
- ・東大宮支店
- ・南浦和支店
- ・大宮支店
- ・大宮支店さいたま新都心出張所
- ・西上尾支店
- ・西川口支店
- ・与野支店

- ・北本支店
- ・七里支店
- ・指扇支店
- ・県庁前支店
- ・大宮北支店
- ・伊奈支店
- ・武蔵浦和支店
- ・桶川支店
- ・白銀支店
- ・天沼支店
- ・北浦和西口支店
- ・片柳支店
- ・宮原西口支店
- ・深作支店
- ・鳩ヶ谷支店
- ・戸田西支店
- ・東川口支店
- ・東浦和支店

■西部地域

- ・狭山支店
- ・東松山支店
- ・小川支店
- ・飯能支店
- ・川越支店
- ・所沢支店
- ・志木支店
- ・朝霞支店
- ・大井支店
- ・新座支店
- ・新所沢支店
- ・坂戸支店
- ・新河岸支店
- ・霞ヶ関支店
- ・川越南支店
- ・入曽支店
- ・下山口支店
- ・新座南支店

- ・所沢駅前支店
- ・入間支店
- ・狭山西支店
- ・高坂支店
- ・みずほ台支店
- ・東所沢支店
- ・鶴ヶ島支店
- ・ふじみ野支店
- ・日高支店
- ・和光支店

■東部地域

- ・羽生支店
- ・幸手支店
- ・行田支店
- ・春日部支店
- ・草加支店
- ・久喜支店
- ・越谷支店

- ・蓮田支店
- ・武里支店
- ・藤ヶ丘支店
- ・大袋支店
- ・松原支店
- ・三郷支店
- ・松伏支店
- ・庄和支店
- ・杉戸高野台支店
- ・新白岡支店
- ・加須支店
- ・八潮支店
- ・吉川支店

■北部地域

- ・寄居支店
- ・熊谷支店
- ・本庄支店
- ・本庄南支店

- ・深谷支店
- ・川本支店
- ・熊谷東支店

■秩父地域

- ・秩父支店
- ・横瀬支店

■東京

- ・東京支店

■茨城

- ・五霞支店

■法人オフィス

- ・西東京オフィス

■住宅ローンセンター

- ・大宮住宅ローンセンター
- ・大宮西口住宅ローンセンター
- ・南浦和住宅ローンセンター
- ・朝霞住宅ローンセンター
- ・川越住宅ローンセンター
- ・所沢住宅ローンセンター
- ・南越谷住宅ローンセンター
- ・久喜住宅ローンセンター
- ・熊谷東住宅ローンセンター

(平成25年3月末現在)

各店舗の地図・
連絡先はこちら



バーコード読み取り対応の携帯電話・スマートフォンでご利用いただけます。(一部ご利用いただけない機種もございますので、ご注意ください。)

武蔵野銀行

ホームページ <http://www.musashinobank.co.jp>

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8 TEL.048-641-6111 (代)

発行/平成25年6月 編集/武蔵野銀行 総合企画部 広報・CSRグループ

